

解 答

問1 ① 島根 ② 日本銀行

問2 東大寺の大仏造立

問3 持ち運びしやすく、遠隔地と取り引きできる点。

問4 (1) 平清盛 (2) ④

問5 あ 朱印 い 幕領（天領） う ユネスコ（国連教育科学文化機関） え ③

問6 恩賞や贈答などのため。

問7 【1】 (い) 【2】 (う) 【3】 (あ)

問8 (1) 両替商 (2) 天秤で重さを量って取り引きした。

問9 解答例1)

(1) ブランドの名がついた商品には高い価値があると思い込んでいるため、品質とくらべて高い価格で売買されている。

(2) 商品の本当の質を見極めようという意識をもった消費生活を送れるようになる。

解答例2)

(1) 原子力発電はクリーンで安全なうえ、発電コストが安いので、資源のとぼしい日本では原子力がエネルギーの中心となっていくであろうという考え。

(2) 便利さだけを求めず、エネルギーの生産が可能な範囲内で本当に必要なものを見極めて生活するようになる。

問10 使いみちが限定されず、自分の判断で必要なものを買える点。

長期間保存ができ、輸送の手間がかからない点。

問11 軍事費がおさえられた分、国の予算を産業の発展のために使えた。

問12 解答例1)

経済的に余裕のあるお年寄りは、高い費用を払ってサービスの行き届いた老人ホームに入居し、手厚い介護を受けることもできる。しかし、経済的に困っているお年寄りは、老人ホームに入居することはもちろん、自己負担分の費用を支払うことが難しいために介護保険のサービスを受けることのできない場合もある。このように経済的な格差によって、本来平等であるべき福祉の面にも格差が生じている。

解答例2)

有名な大学への進学率が高い学校や、特色ある教育を行っている学校へ通うためには、高い学費を払わなければならないなど、親の経済力に左右されてしまう場合がある。また、所得の低い家庭では、教育費の負担がより重くなるため、学校以外に塾に通ったり、家庭教師をつけたりすることができない場合も多い。このように所得の格差が教育の格差を生み、教育の機会均等がおびやかされるという問題が生じている。

解 説

問1 ② 紙幣（お札）には「日本銀行券」と印刷されています。10円玉などの硬貨は、政府によって発行されています。

問2 奈良時代に造られた東大寺の大仏には、大量の銅やすず、金が使われました。

問5 徳川家康は貿易の利益に目をつけ、朱印船貿易をすすめました。この貿易でヨーロッパ人との取り引きの際に石見銀山で産出された銀が使われました。石見銀山は江戸幕府が直接治めた幕府領（天領）です。なお、銀の取り出しには大量の木材が使われますが、石見では森林の伐採とあわせて植林や森林保護も行っていました。

問6 秀吉がつくらせた天正大判は、おもにほうびや贈り物として使われ、一般には広まりませんでした。

問7 【1】 スペイン人のザビエルは、日本にキリスト教を伝えた人物です。 【2】 西まわりでアジアをめざしたマゼランはフィリピンで原住民に殺されました。 【3】 イタリアの商人マルコ・ポーロは、シルクロードで中国（元）に行き、元の皇帝フビライ・ハンに仕えました。

問8 (1) 江戸時代、おもに金は江戸、銀は大阪で使われたため、貨幣の交換を行う両替商が活躍しました。

問12 教育や福祉は、本来平等であるべきで、貧富の差（所得の格差）によって差が生じるようなことはのぞましくありません。しかし、現実には、所得（収入）が少ないため、十分な教育や介護が受けられないといった問題が発生しています。